

令和5年度 敦賀南小学校 スクールプラン

児童の実態
保護者の願い
地域の活性化
教育公務員の使命

敦賀市「知・徳・体」令和プラン
知：学びを通して考える力
徳：内面を豊かにする力
体：たくましく生きる力
「子どもたちの夢と希望を家庭・学校・地域で」

【学校教育目標】
すべての南の子に笑顔を

夢

【めざす児童像】

仲間

挑戦

ひとりであるく【自律する子】

みんなとあるく【協働できる子】

力のかぎりあるく【努力する子】

【重点目標】

仲間〈彩かな心〉

- ① 自他および生命を慈しむ心
- ② 人権を尊重し多様性を認める心
- ③ 法令を遵守し公民としての誇りを持つ心

夢〈確かな学力〉

- ① 可能性を引き出す基礎・基本の学力
- ② 論理的に考え、伝え、自己実現できる学力
- ③ 学びを楽しみ、習慣化できる学力

挑戦〈たくましい身体〉

- ① 健康で健全な生活を営む身体
- ② 意欲的に継続して取り組める身体
- ③ 危機・危険を回避できる身体

地域活性化〈南の子〉

- ① 保護者や地域と共に育てる南の子
- ② 学びがつながる南の子（保幼小中）
- ③ ふるさとを元気にする南の子

【具体的な取り組み】

① 自他および生命を慈しむ心

＜道徳教育の充実＞「親子道徳」「親子読書」を通じて、学校と家庭と連携した道徳教育を実施
 ＜自殺予防＞「生命の尊重」「他者を尊重」を基本とした学級経営により自己肯定感を高める
 休業中もタブレットを使った関係作りを継続実施
 ＜読書活動＞必読読書ラリー、語り聞かせにより、慈しむ心や好奇心を育てる
 ② 人権を尊重し多様性を認める心
 ＜人権学習＞人権に関する知的理解をすすめ、「自他の権利」「他者への敬意」を考え、人権意識を高める教育を計画的に実施
 言語環境を整え人権感覚を磨く（児童・教職員）
 ＜インクルーシブ教育＞多様な価値を認め、差別することなく受容・包括できる集団の育成
 ＜いじめ/不登校＞所属欲求・承認欲求を充足させ、自己肯定感を高める学級・仲間づくりを強化
 多面的なアセスメントに基づいた児童理解と教育相談を実施
 ③ 法令を遵守し公民としての誇りを持つ心
 ＜自治活動＞ベア学年・縦割り活動を通して、効果的な人間関係づくりを実施：（清掃、縦割り活動）
 自治的活動を通し、社会性を育む（児童会活動）
 ＜法教育＞「こども六法」を活用し、「きまり」「ルール」の意義、「規範」「善悪」「個人と公」について法令から捉える教育を充実

【目標】

親子道徳・・・参加型・オンライン 計2回
 いじめ・不登校防止授業の相互参観・・・各学級2回以上
 自殺防止教室、法令教育の実施・・・低・高学年選択1回

① 可能性を引き出す基礎・基本の学力

＜学習の個別化＞タブレットドリルの活用により、到達度に応じた学習課題を提供
 ＜語彙を増やす＞基礎的な言語能力の育成のために「ことばの広場、短文・俳句柳づくり」を各学級の実態に応じて実施。
 ② 論理的に考え、伝え、自己実現できる学力
 ＜思考の見える化＞情報を整理するために思考（シンキング）ツールを積極的に活用「結論」「根拠」「理由」「具体例」の論理構成の基本を習得
 ＜個別最適な学び＞自分の意見を伝える手段をタブレット端末の活用により個に応じて選択できるようにする 正解を求める討論から、互いの価値を認め合う授業を展開
 ＜協働的な学び＞相手を意識した双方向の情報共有をタブレット活用により促進「自分の考え」を「目的」に応じて、相手にわかりやすく伝える力をつける授業を展開
 ＜伝える力＞「伝える力」を発達段階に応じて育成するために系統立てた「授業構成」を考える。
 ③ 学びを楽しみ習慣化できる学力
 ＜家庭学習＞タブレットドリルの活用により、到達度に応じた学習課題を提供し家庭学習の習慣づけを進める
 ＜学習の個性化＞発達段階や個人の能力に応じて自ら課題を見つけ、調べてまとめる「主体的な学び」に挑戦させる
 ＜学習権の保障＞教室でなくても授業が受けられる仕組みを整理 遠隔システムやデジタルドリルの活用により「途切れない学び」を提供

【目標】

デジタルドリルの使用率・・・9.5% 標準テスト+10点
 思考ツールの効果を検証、評価方法の確立（全学年）
 不登校傾向児童のための遠隔授業等の実施・・・80%以上

① 健康で健全な生活を営む身体

＜生活習慣＞「早寝・早起き・しっかり朝食」や「睡眠」教育を励行し、規則正しい生活習慣を身につけさせる
 ＜デジタルシティズンシップ教育＞SNS やスマホの付き合い方、ネット・ゲーム依存を防ぐ教育を保護者と連携して実施 系統的な情報モラル教育の実施
 ＜食育＞「食育」の計画的実施 地産地消給食メニューを生かしたふるさと教育
 ② 意欲的に継続して取り組める身体
 ＜業間活動＞業間運動（マラソン、縄跳び、集団あそび）をベア学年活動（縦割り）で年間を通して実施。
 ＜体力づくり＞目標を持って取り組み、体育行事で成果発表を実施（体育学習発表会、マラソン大会、縄跳び大会）
 ＜地域との連携＞中学校の部活動移行を見据え、スポ少や体育クラブとの情報や目的を共有
 ③ 危機・危険を回避できる身体
 ＜安全教育＞交通安全指導の強化（登下校指導、通学班会議、交通安全教室、見守り隊との連携）
 外部講師を招いた交通安全教室の実施
 定期的な保健室だよりにより、学校事故の防止と啓発（安全な廊下歩行、校庭での怪我等）
 ＜防災教育＞「自然災害」における「自助共助公助」を考え行動できる教育を実施。危険回避能力を育てる
 ＜避難訓練＞「不審者」「火災」「自然災害」「原子力」等シチュエーション毎に「危険予知」「危機回避」できる力を育成

【目標】

栄養指導・食育教室・・・各学級1回以上
 地域通学路交通安全協議会を開催・・・3回
 防災教室・・・2回実施 避難訓練・・・年4回（引き渡し）

① 保護者や地域と共に育てる南の子

＜SDGs＞「リサイクルルーム」の運営など、保護者が主体となったSDGsパートナーとしての取組
 ＜地域安全＞「安全の黄色いハンカチ運動」の拡散
 ＜保護者参加＞水泳学習、マラソン大会など、教育活動に保護者参加型教育活動を増やす
 ＜情報公開＞計画的な学校公開（オープンスクール）学校情報配信アプリ Home&School を活用した保護者向けの情報公開HPによる地域への積極的な情報発信
 ② 学びがつながる南の子
 ＜小中連携＞・気比中学校区の学力向上、生徒指導連携のための、小中一貫組織の構築および小中一貫教育の推進
 タブレットを活用した授業公開や教育 DX の取り組みを中学校区で共有
 ＜幼保小連携＞遠隔・動画配信を活用した幼保小の連携（接続カリキュラムの実践）
 ＜遠隔授業＞外部機関・企業と遠隔でつながる教育活動や授業の実施
 ③ ふるさとを元気にする南の子
 ＜学校評価＞学校評価を活かした地域活性化の意識を児童・保護者・教職員で高める
 ＜地域参加＞地域の活動への参加、地域との協働活動を計画し、地域とつながりを増やす
 ＜ふるさと教育＞新幹線敦賀駅開業を起点に地域を盛り上げる活動に積極的に参加

【目標】

SDGs 教室・・・保護者主催1回、学校主催1回
 幼保小連携・・・保育・授業参観2回、検討会2回
 ふるさとプレゼン参加 新幹線開業イベントに参加

【めざす学校像】

笑顔

で登校し

笑顔

で帰宅できる学校

【常に業務改善】

教育 DX による授業の変換 タブレットを活用した学習評価のあり方
 オンラインを活用した職員研修を増やす 超過勤務年平均 45h 以下